

施設だより

スワン

発行日	令和6年4月1日 第1号
発行者	〒671-2246 姫路市打越 1342 番地 6 社会福祉法人 愛光社会福祉事業協会 障害福祉サービス事業所 スワン TEL 079(268)3500 FAX079(268)3388 E-mail swan@aiko-welfare.or.jp URL http://www.aiko-welfare.or.jp/

施設だより発刊のあいさつ

管理者：古庄慎也

「働こう。誰よりも元気に！誰よりも一生懸命に！誰よりも自分らしく！」

山々を桜が飾る季節となりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、当事業所に対しまして、利用者の方、ご家族、地域の皆さまをはじめ、多くの関係機関の方々のご支援とご協力を頂き、心より、ご感謝申し上げます。

スワンを開所して早いもので5周年を迎えます。この間、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行、東京オリンピック・パラリンピック、戦争、巨大地震等一喜一憂する様々な出来事がありました。スワンにおいても新型コロナウイルス感染症拡大により太陽公園の休園、観光客の減少による土産品等売り上げの低迷、物価高騰による仕入れ価格の上昇等収入と支出のバランスが乱れ事業所運営に打撃をもたらしました。そんな状況下の中でも、利用者の皆様、職員ともに力を合わせて元気に働けたことが何より良かったと感じています。今年度より、パンの製造販売、太陽公園白鳥城をモチーフとしたオリジナルな商品の考案等新たな展開を繰り広げます。10周年に向かうこれからは「撃って出る」大きく飛躍できる5年間にしたいと考えています。利用者の方、ご家族の方が魅力を感じ安心できる事業所、選んで頂ける就労の場所、地域の方が気軽に足を運んで頂ける場所になるように「初心」「感謝」「継続」「進化」を胸に職員一丸となって邁進していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



サービスの概要について

Q.どこにありますか？

A.障害福祉サービス事業所スワンは姫路市打越にあります。

山陽自動車道・山陽姫路西ICのそばです。

“白鳥城”という西洋風のお城が目印の観光施設・太陽公園の中にあります。

太陽公園には白鳥城をはじめ世界の石のオブジェのレプリカがたくさんあり観光客の方が連日訪れています。



太陽公園 白鳥城

Q.どんなことをしていますか？

A.作業は、観光施設・太陽公園での土産・パン・ドリンクの販売補助や清掃、線香工場での線香の製造、また、各種内職作業なども請負っています。パン製造・移動販売も行います。

線香工場で製造した線香は、姫路市内の寺院・霊園等に卸しています。また製品は太陽公園内で販売しています。作業以外には、定期的にレクリエーション活動（外食・買い物等）やクラブ活動（ウォーキング・パソコン等）もあります。

土産コーナー



ざ・ぱんや（パン屋）



カフェ・フュッセン（ドリンク）



Q.開所日や開所時間はどうなっていますか？

A.太陽公園の営業に合わせて年中無休の開所です。通所にあたっては、ご相談の上、通所日を決めています。土日や祝日の通所もできます。開所時間は 9:30～15:30 になります。

Q.交通手段はどうなっていますか？

A.路線バス（神姫バス 白鳥台行 白鳥台3丁目バス停）で通っている方が多いです。

路線バスでの通所が難しい方は送迎車を利用している方もいます。

太陽公園の駐車場・駐輪場も利用できるので、自家用車や自転車で通うこともできます。

Q.工賃はどうなっていますか？

A.施設工賃支給規程に基づき、日給制・月末締め、翌月15日支給です。

就労支援継続B型事業所・障害福祉サービス事業所スワンは太陽公園「スワン」内にあります。

